



# 天寿酒造株式会社

〒015-0411  
秋田県由利本荘市矢島町城内字八森下117  
TEL 0184-55-3165 FAX 0184-55-3167  
http://www.tenju.co.jp  
第63号 2010年3月号

暖冬かと思うと、めつたに無いような大寒波が襲ってきて、三十年以上一度も無かった消火栓のポンプが凍り破裂すると言う大変な事件も起きました。(消化ポンプの交換で大変な金額が飛んでいきます...)屋根の上も融けたり凍ったりと忙しく、シガもり(融けた雪が凍る事で屋根材の隙間から漏って来る事)の心配や上槽後の生原酒の温度管理、雪室の雪など心配事がドンドン増えてまいります。

## 暖冬?の秋田から

代表取締役社長 大井建史

二月十三日に今年も酒蔵開放を実施し、沢山のボランティアの皆さんにご協力を頂き、お陰様で盛会裏に終了する事ができました。当日は1500人を越えるお客様をお迎えする事ができ、心から感謝申し上げます。

造過程も様変わりし、醸造環境・設備もそれに伴って社長継承時とは大きく様変わりしております。勿論、酒質も変わります。その変化を皆様にお伝えしたくて、蔵元通信を書き始めました。また、蔵開放を拡大イベント化し、駅の市・酒蔵の市、雪室開放イベント、水源探索、天寿を楽しむ会、落語と天寿を楽しむ会、旬どきうまいもの自慢会等々、少しでも多くの方々とお触れ合う機会をもうけて参りました。

今年も佳い酒がどんどん搾られています。ご期待ください。



新方式洗米風景

# 雪室 氷点熟成 純米生酒 開封!!

雪室タンクから

天寿 雪室氷点熟成純米生酒は、2月の「酒蔵開放」でしほりたて純米生酒の入ったタンクをまるごと雪の中に封印し±0℃の氷点で熟成させたお酒です。そのお酒を4/29に雪室から開封いたします。純米生酒のとりりとした口あたりを楽しんで頂くための各種イベントをご紹介します。



●日時 / **4月29日(木)**

午前**10:00~12:00**

●場所 / 天寿酒造(精米所付近)

## 蔵 直拵天寿の酒蔵に 雪室生酒を酌みに行こう

雪室氷点熟成純米生酒 720ml **¥1,365**(税込)

必要な本数を、お客様ご自身でピンに手詰めすることが出来ます。《空ピンは天寿で準備致します。》



## 店 開封当日に 雪室解禁パーティー(秋田県内)

◎ご希望の会場または天寿酒造へお申し込みください。

●会場 / 下記参照 ●会費 / 前売チケット制

●時間 / 18:00~20:00 《4/29同日開催》



於 ホテルまさか

| 店名       | 住所                 | 電話番号         | 会費     | 定員  |
|----------|--------------------|--------------|--------|-----|
| ホテル まさか  | 由利本荘市鳥海町猿倉字湯ノ沢52   | 0184-58-2188 | 4,000円 | 80人 |
| 酒楽亭 うみひこ | 秋田市大町6丁目2-18 (横町店) | 018-863-6732 | 4,200円 | 50人 |
| たつみ寛洋ホテル | にかほ市象潟町字後田116-5    | 0184-32-5555 | 4,000円 | 60人 |

## 催 列車《おぼこ号》に乗って 宴会列車(フリー付) 雪室解禁パーティー

由利高原鉄道《おぼこ号》を借り切って、解禁パーティー列車として運行いたします。列車に揺られながらの旅情あふれる酒宴をお楽しみ下さい。

定員 40名  
参加費 3,000円  
運行日時 4/29(木)

申込み 羽後本荘駅発18:49往復  
詳しくは由利高原鉄道株式会社  
0184-56-2736 まで





# 天寿の歴史

## 補遺

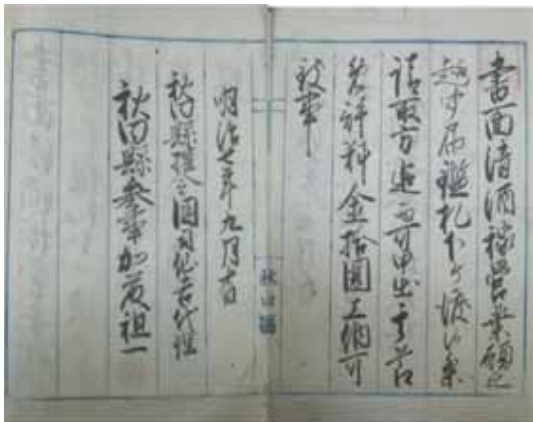


補遺1-2 清酒醸造免許取得

取締役

六代目 大井 永吉

明治七年八月十三日日付の申請書に八月十五日の戸長(今の町・村長)の奥印(証印)を貰い届出、九月十日には聞き届けられている。



聞き届けの通達

書面清酒稼営業願之趣聞届、鑑札下ケ渡候条請取方追而可申出、其節免許料金拾円上納可致事

明治七年九月十日

秋田県権令 国司仙吉代理  
秋田県参事 加藤祖一

願いを聞き届け鑑札を下げ渡すから上納金十円を納めよとのことである。醸造願を提出して約一ヶ月で許可が下りているが、恐らく事前に行っている準備があったことであろう。現在では殆ど自由化されている小売免許でも審査期間に二ヶ月もかかると言われる。製造免許となれば製造場を始め、麴室、仕込み桶などそれなりの製造設備が整っていないければならないので、相当の準備期間が必要である。その点当時二代目は麴と濁酒を営んでいたもので、麴室などの設備は清酒に転用できたのである。土蔵造りの観音開きと漆喰の引き戸、その内戸の格子戸のみが残る今も「一号蔵」と名付けている蔵は、棟木に明治七年甲戌とあったので、清酒醸造のために建てた土蔵だったことが判る。下に三代目と横書きし大井永吉、同与四郎と並べて縦書き下には、明治十四年には清酒醸造引継営業願を出している一人前となつた後継者の与四郎を立てての事だったと思われる、温かい親心が偲ばれる。

また前準備の一つとして濁酒醸造廃業願がある。

濁酒醸造営業罷在候処、今般廃業仕度、依之御鑑札返上仕候間、此段奉願候、以上

秋田県管下商  
第四大区三小区  
羽後国由利郡城内村式百  
老十式番屋敷居住  
大井永吉

明治七年九月七日  
秋田県権令 国司仙吉殿  
右之通相違無之、依而奥印仕候  
戸長 菅原景就

九月十二日には聞届候事の認可が下りている。単に濁酒を止めて清酒一本に絞れたかったのか、止めることが免許要件だったのか不明だが、同時認可になつていない。家業としては初代永吉が麴と濁酒を商っていたが、何時から始めたのか不明である。分家してから清酒醸造を始める明治七年までは四十四年、二代目が婿入りしてからも二十五年なので少なくとも三十年にはなるかも知れない。しかし当社は確実に清酒醸造の免許を得た明治七年九月十日の通達の日を以って創業の日と定めているのである。

### 天寿大井家の古今雜



### 由利本荘ひな街道

◎開催期間 3月3日(土)22日

江戸時代に矢島藩、本荘藩、亀田藩の三つの藩が存在した由利本荘市。藩主ゆかりのおひな様や、北前舟交易で繁栄を極めた豪商などのおひな様が今も数多く残っています。

それらを、市内六つの資料館・美術館と商店街や一般家庭で約千体のおひな様を一挙に公開。天寿酒造でも築百八十年の本宅に古今雜を飾り、皆さまの御越しをお待ちしております。又、酒蔵見学も出来しますので電話等で事前にお申し込み下さい。

ひな街道記念  
限定おひな様ラベル



ひな街道本醸造  
720ml 1,000円

### お客様の声 《酒蔵開放》

今回は、蔵開放に東京からお友達と三人でボランティアスタッフとしてご参加いただいた吉見和子様からのメールをご紹介します。

今年是有料試飲のコーナーでお世話になり、(最初は毎回恒例、緊張しましたが)社員さんを始め、アイガモ鍋担当のベテランボランティアの方々など、皆さんと色々お話しさせて頂いたお陰で緊張も解けあつたという間の時間でした。去年は試飲販売のコーナーで、大勢のお客

様に囲まれ、必死でプラカップに注ぎ、必死でお会計をしている間にあつたという間に時間が過ぎたという感じでしたが、今年是有料試飲のコーナーで、「これが飲みたーい!」というお客様が来られるので、去年とは違う時間を過ごしました。「こういう時に飲んでおかないと!」と、大吟醸や古酒を何度もお代わりされた方や、「去年と比べて:」と毎年大吟醸を飲み比べている方、ラベルや裏書きを熟読される方、大吟醸を飲みながら朝しぼりを絶賛される方(笑) 色々なお客様とお話しが出来ました。



東京3人組み 写真中央が吉見様

普段、私達は東京での日本酒イベントを中心に天寿のお酒を美味しく頂いておりますが、今回、色々な方とお話しする機会に恵まれ、「地元可愛さされているんだなあ」と実感し、東京で楽しむのとは違った一面に触れる事ができました。地元を大切にしているからこそ美味しいお酒が出来て、みんな美味しく頂く事が出来るんですよ。

東京から、微力ではありますが、天寿ファンを増やせるように応援したいと思っております!今年もとても楽しく過ごさせて頂き、本当にありがとうございます。以上、感想文でした。私はノンベエですし、もちろん酒好きなのですが色んな方との出会いや交流がとても楽しく、最近どっちがメインなのかよく分からなくなってきました。

来年はもう少しネイティブの皆様の会話が理解できるようになりたいです。

### ◆◆◆ゴールデンウィーク 試飲即売予定◆◆◆

ゴールデンウィーク期間中に地元の道の駅各店と秋田市アトリオンビル内県産品プラザ、秋田空港で試飲即売会を致します。4月29日に雪室タンクから瓶詰めしたばかりの「雪室氷点熟成純米生酒」などを準備して皆様のお越しをお待ちしております。



◆5/2日・3日・4日 ◎道の駅【ねむの丘】(にかほ市)

◆5/3日・4日・5日 ◎秋田空港(秋田市)

◎アトリオン(県産品プラザ)(秋田市)

◆5/3日・4日 ◎道の駅【にしめ】(由利本荘市)

ご意見、ご感想をおきかせください。  
日本酒についてもっと知りたい方、天寿についての情報を知りたい方、ご連絡をお待ちしております。

- Eメールアドレス .....info@tenju.co.jp
- ホームページ.....http://www.tenju.co.jp
- フリーダイヤル .....0120-50-3165
- FAX .....0184-55-3167

★蔵見学希望の方は、準備等の都合がございますので事前にご連絡下さい。

★蔵元通信(2ヶ月に1度奇数月に発行予定)希望の方はご連絡下さい。無料

★メールマガジン(天寿情報)希望の方は、E-mailで